

Jabber for Windows の設定 : クイックスタートガイド

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[ソフトウェア要件](#)

[ハードウェア要件](#)

[バックグラウンド](#)

[電話サービス](#)

[Jabberソフトフォン](#)

[Jabberデスクフォン](#)

[デスクフォンの設定](#)

[CTI UCサービスセットアップ](#)

[ボイスメールの設定](#)

[Unity Connectionの設定](#)

[CUCM の設定](#)

[ディレクトリの設定](#)

[LDAPディレクトリサービス](#)

[UDSディレクトリサービス](#)

[CUCMエンドユーザの設定](#)

[サービスの検出](#)

[Jabberのダウンロード](#)

[Jabberのインストール](#)

[Jabber へのログイン](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Jabber for Windows の基本機能の展開に必要な手順について説明します。

前提条件

Cisco Unified Communications Manager(CUCM)の管理Webページに関する基本的な知識と、基本的な電話設定の経験があることが推奨されます。

ソフトウェア要件

このガイドでは、次のソフトウェアバージョンが使用されていることを前提としています。

- Cisco Unified Communications Manager(CUCM)バージョン10.x以降
- Cisco Unified IM and Presence(IM&P)バージョン10.x以降
- Cisco Unity Connection(CUXN)バージョン10.x以降
- Jabber for Windows 11.8以降
- Microsoft Windows 10 (32ビットおよび64ビット)
- Microsoft Windows 8 (32ビットおよび64ビット)
- Microsoft Windows 7 Service Pack 1以降 (32ビットおよび64ビット)

ハードウェア要件

ハードウェア仕様は、Microsoftオペレーティングシステム上のCisco Jabber for Windowsの推奨最小要件です。

- CPU
 - モバイルAMD Sempronプロセッサ3600+ 2 GHz
 - Intel Core2 CPU T7400(2.16 GHz)
 - インテルAtom
- RAM
 - 2 GB (128 MBの空き容量)
- 空きディスク領域
 - 256 MB

バックグラウンド

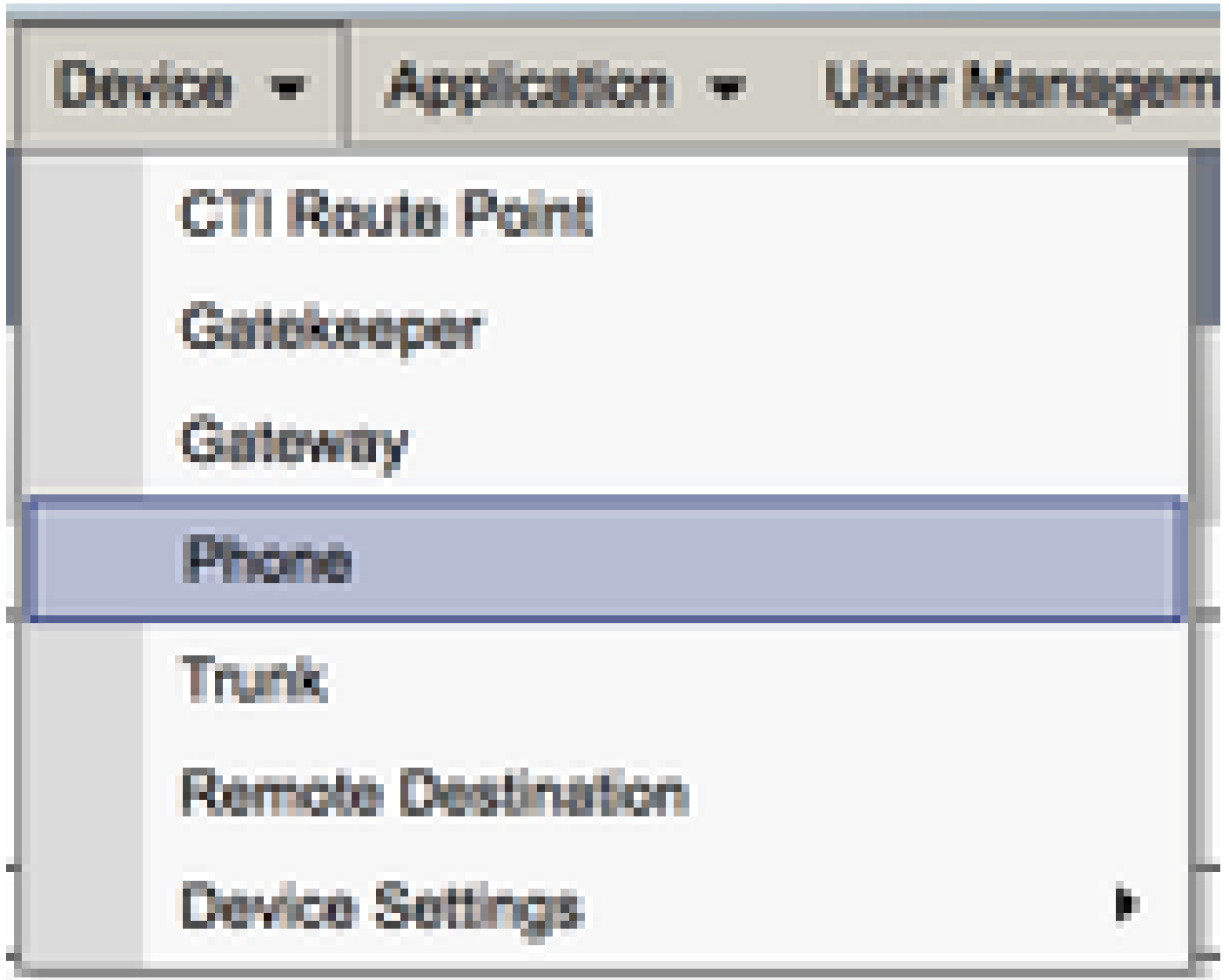
これはクイックスタートガイドであり、Cisco Jabber for Windowsでサポートされる高度な機能については説明していません。

電話サービス

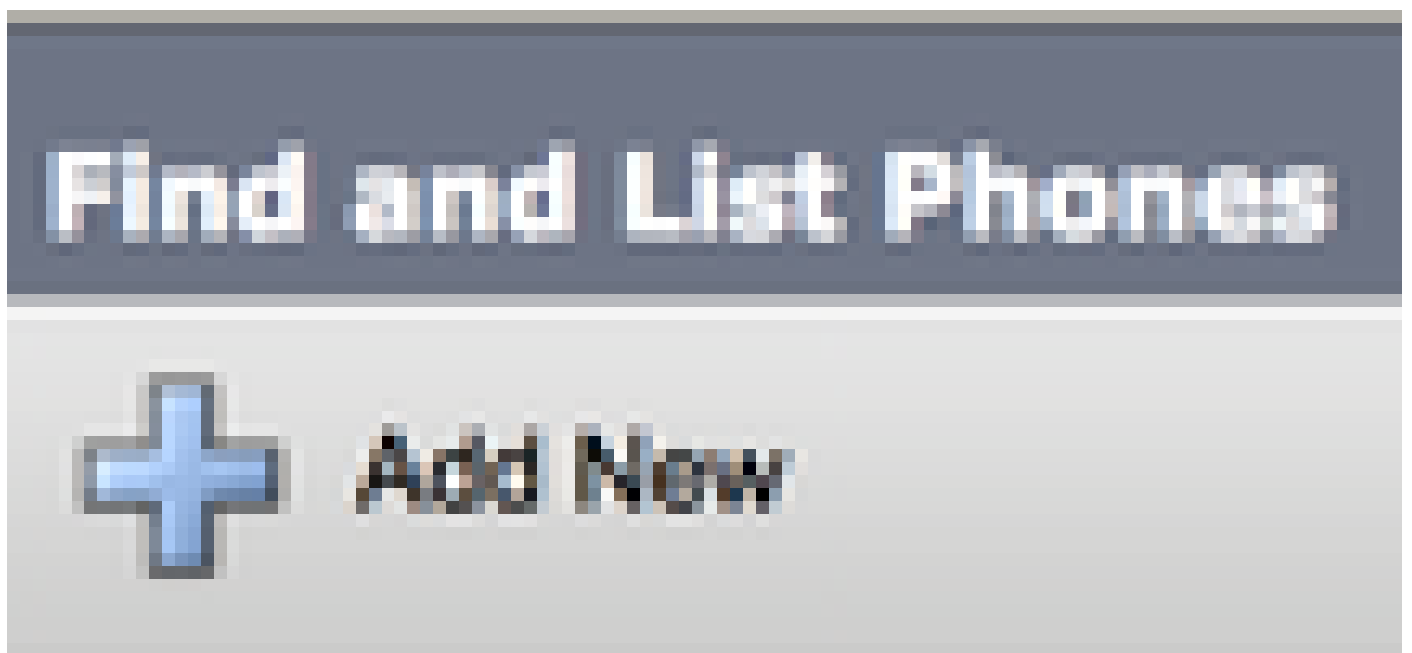
Jabberソフトフォン

Jabber for Windowsには、Cisco Unified Client Services Framework(CUCSF)デバイスを通じて電話サービスを提供するオプションがあります。このデバイスは通常、CSFまたはソフトフォンと呼ばれます。

CSFデバイスを設定するには、CUCM Administration Webページにログインし、Device > Phoneの順に選択します。



Find and List Phonesメニューから、Add Newを選択します。



Add a New Phoneメニューで、電話タイプのドロップダウンからCisco Unified Client Services Frameworkデバイスタイプを検索します。選択したら、Nextをクリックします。

Add a New Phone

Next

Status

Status: Ready

Create a phone using the phone type or a phone template

Phone Type*
Cisco Unified Client Services Framework

or

BAT Phone Template*
-- Not Selected --

表 (表1.0) には、CUCMでCisco Unified Client Services Framework(CSF)デバイスを設定するために設定する必要があるすべてのフィールドが含まれています。ほとんどの必須フィールドにはデフォルトの設定が含まれており、展開に特に必要のない限り、手動で設定する必要はありません。テーブルのConfigured by DefaultカラムがNOに設定されているすべてのフィールドは、手動で設定する必要があります。

ヒント：シスコでは、すべてのクライアントサービスフレームワーク(CSF)デバイスにCSFのデバイス名プレフィックスを設定することを推奨します。たとえば、Holly Dayという名前のユーザにCSFデバイスをプロビジョニングするとします。彼女のCUCMエンドユーザIDはhdayであるため、彼女のCSFデバイス名はCSFHDAYになります。

表 1.0

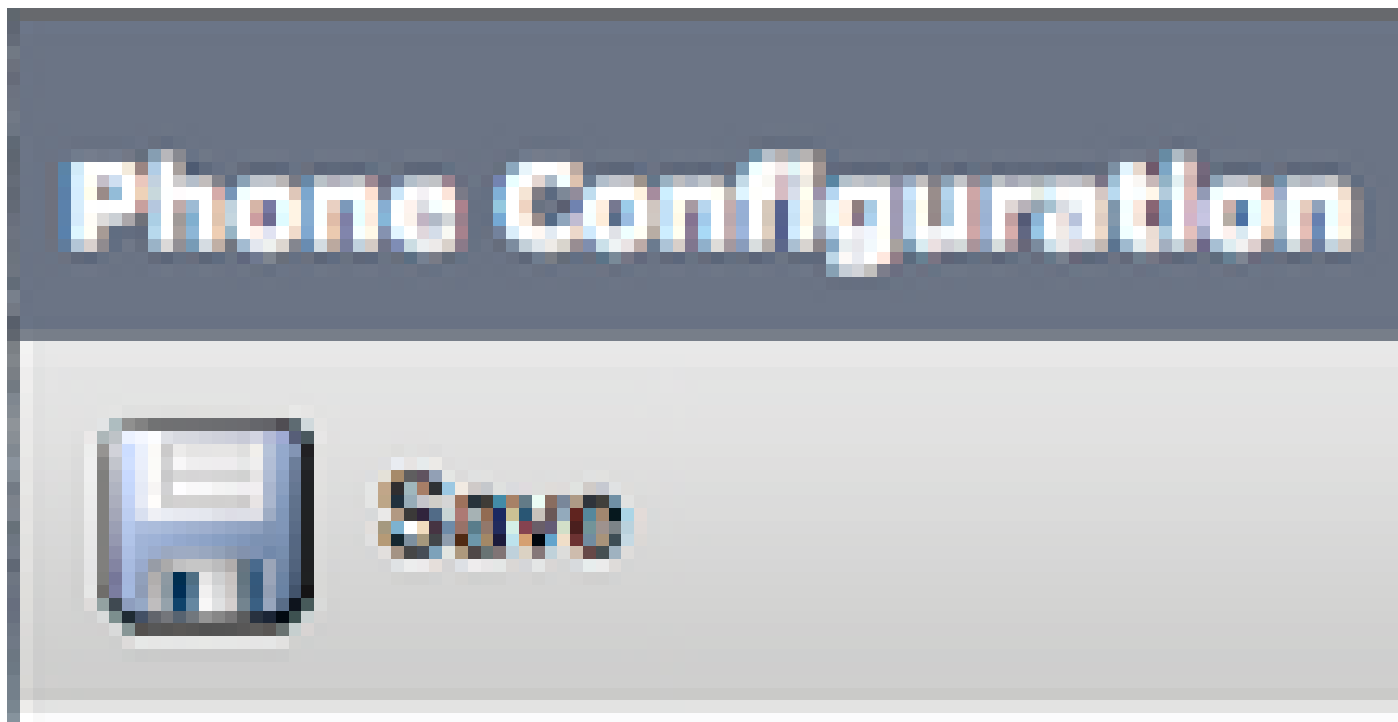
必須フィールド	デフォルトパラメータ	デフォルトで設定	説明
Device Name	手動で追加する必要がある。デバイス名はCSFで始まる必要がある	NO	ソフトウェアベースの電話機を識別するための名前を入力します
Device Pool	使用可能なデバイスプールの1つを選択	NO	この電話機を割り当てるデバイスプールを選択します。デバイスプールは、リージョン、日時グループ、ソフトキープレートなど、デバイスに共通する特性のセットを定義しま

	する必要があります		す。
[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)]	標準クライアントサービスフレームワーク	NO	適切な電話ボタンテンプレートを選択します。電話ボタンテンプレートは、電話機のボタンの設定を決定し、各ボタンに使用される機能 (回線、スピードダイヤルなど) を特定します。
共通の電話プロフィール	標準の共通電話プロフィール	はい	使用可能な共通電話プロフィールのリストから共通電話プロフィールを選択します
場所	ハブなし	はい	ロケーションを使用して、集中型コール処理システムにコールアドミッション制御(CAC)を実装します。ロケーションは、このロケーションに対して送受信可能な帯域幅の合計を指定します。Hub_Noneというロケーションは、このCisco Unified IP Phoneが消費する帯域幅をロケーション機能が追跡しないことを意味します。Phantomのロケーションは、H.323プロトコルまたはSIPを使用するクラスタ間トランクでCACが正常に実行されるロケーションを指定します。
ビルトインブリッジ	デフォルト	はい	割り込み機能のビルトイン会議ブリッジを有効または無効にするには、ビルトインブリッジドロップダウンリストボックス ([オン]、[オフ]、または[デフォルト]) を使用します
デバイス モビリティモード	デフォルト	はい	このデバイスのデバイスモビリティ機能をオンまたはオフにするか、[デフォルト]を選択してデフォルトのデバイスモビリティモードを使用します。デフォルトでは、デバイスのDevice Mobility Modeサービスパラメータの値が使用されます。
所有者ユーザID	ユーザIDの設定	NO	ドロップダウンリストボックスから、割り当てられた電話ユーザのユーザIDを選択します。ユーザIDは、このデバイスから発信されたすべてのコールの呼詳細レコード(CDR)に記録されます。デバイスにユーザIDを割り当てると、デバイスが「未割り当てデバイス」から"ユーザ" ライセンス使用状況レポートに表示されます。
信頼されたりレーポイントの使用	デフォルト	はい	ドロップダウンリストボックスから、Cisco Unified CMが信頼されたりレーポイント(TRP)デバイスをこのメディアエンドポイントで挿入するかどうかを有効または無効にします。Trusted Relay Point (TRP ; 信頼できるリレーポイント) デバイスは、Trusted Relay Pointというラベルが付いているMTPまたはトランスコーダデバイスを指定します。
常にプライマリ回線を使用	デフォルト	はい	ドロップダウンリストボックスから、 ([オフ]、[オン]、または[既定]) を選択します。デフォルト : Cisco Unified Communications Managerは、Cisco CallManagerサービスをサポートするAlways Use Prime Lineサービスパラメータの設定を使用します。
ボイスメッセージには常に	デフォルト	はい	ドロップダウンリストボックスから、 ([オフ]、[オン]、または[既定]) を選択します。デフォルト : Cisco Unified CMは

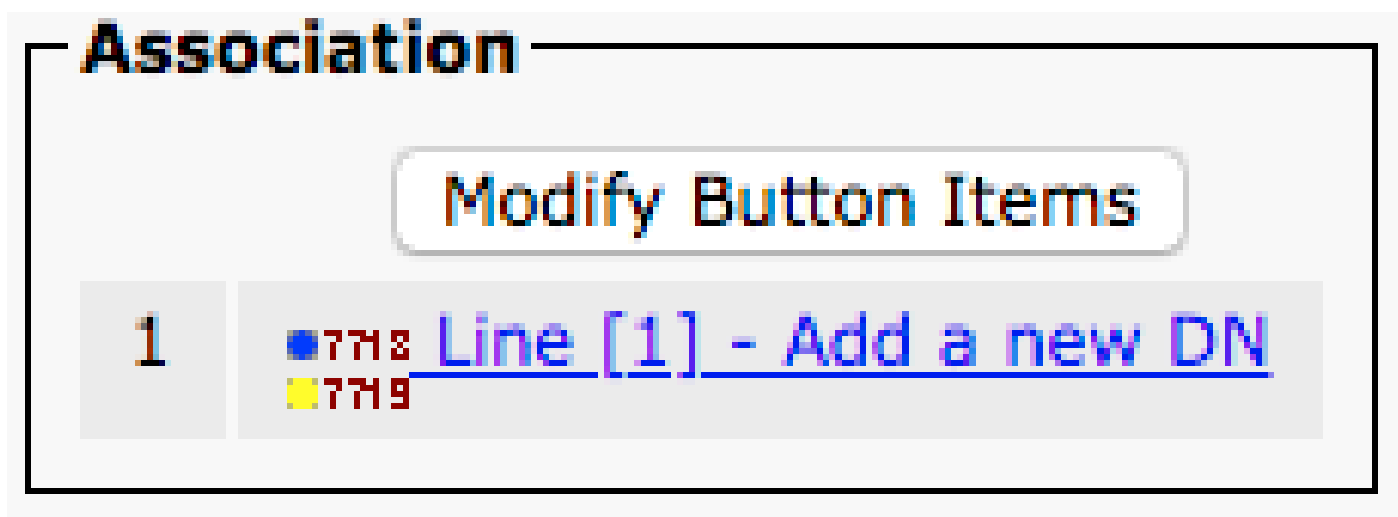
プライム回線を使用する			、Cisco CallManagerサービスをサポートするAlways Use Prime Line for Voice Messageサービスパラメータの設定を使用します。
パケットキャプチャモード	なし	はい	これは、暗号化のトラブルシューティングのためだけに存在します。パケットキャプチャは、高いCPU使用率やコール処理の中断を引き起こす可能性があります。
BLFプレゼンスグループ	標準プレゼンスグループ	はい	エンドユーザのプレゼンスグループを選択します。選択したグループは、この電話番号をモニタできるデバイス、エンドユーザ、およびアプリケーションユーザを指定します。 プレゼンスグループのデフォルト値は、インストール時に設定される標準プレゼンスグループです。
デバイスセキュリティプロファイル	手動で選択してください	NO	セキュリティプロファイルは、ページで設定されているすべての電話機に適用する必要があります。Cisco Unified Communications Managerの管理を参照。Cisco Unified Communications Managerのインストールには、自動登録用の定義済みの非セキュアセキュリティプロファイルのセットが用意されています。電話機のセキュリティ機能を有効にするには、デバイスタイプとプロトコルの新しいセキュリティプロファイルを設定し、電話機に適用する必要があります。電話機がセキュリティをサポートしていない場合は、非セキュアプロファイルを選択します。
SIP プロファイル	手動で選択してください	NO	デフォルトのSIPプロファイル、または以前に作成した特定のプロファイルを選択します。SIPプロファイルは、登録タイマーとキープアライブタイマー、メディアポート、サイレント(DND)制御など、電話機に関する特定のSIP情報を提供します。
証明書操作	保留中の操作はありません	はい	このフィールドは、CAPF登録に関連しています。
DNDオプション	呼出音オフ	はい	電話機でDNDを有効にすると、このパラメータでDND機能による着信コールの処理方法を指定できます。
ビデオ通話	Enabled	はい	ビデオ機能のオン/オフを切り替えます。
電話制御で自動的に起動する	Disabled	はい	有効になっている場合は、デスクトップの電話制御モードでクライアントを起動します。
テザー付きデスク電話を自動的に制御	Disabled	はい	有効にすると、クライアントはテザリングされたデスクトップ電話を自動的に制御します。
拡張機能と接続機能	Enabled	はい	クライアントに対して拡張機能と接続機能が有効になっているかどうかを示します。これにより、クライアントはサードパーティのPBX、PSTN、およびその他のリモート電話のコールをモニタおよび制御できます。
連絡先の写真を表示する	Enabled	はい	クライアントに対して連絡先の写真の取得と表示を有効にするか無効にするかを示します。

ディレクトリでの番号検索	Enabled	はい	社内ディレクトリを使用した電話番号ルックアップがクライアントに対して有効か無効かを示します。
分析コレクション	Disabled	はい	クライアントの分析コレクションが有効か無効かを示します。

CSF設定の必須フィールドをすべて設定したら、Saveボタンを使用して設定を保存します。



CSFを作成したら、デバイスに電話番号を追加する必要があります。これを行うには、CSF設定の左上にあるAdd a new DNオプションを選択します。



注：このドキュメントでは、CSFデバイスの回線設定全体については説明しません。回線設定は、すべての電話機に対して実行する必要がある標準設定であり、CSFデバイスに固有の設定ではありません。

ヒント：ディレクトリを作成したら、CSFデバイスに番号を付けます。CUCMエンドユーザ

をディレクトリ番号に関連付けます。電話番号設定の最下部までスクロールし、エンドユーザの関連付けを選択します。この設定は、Jabber for Phone Presenceを使用する予定の場合に必要です。

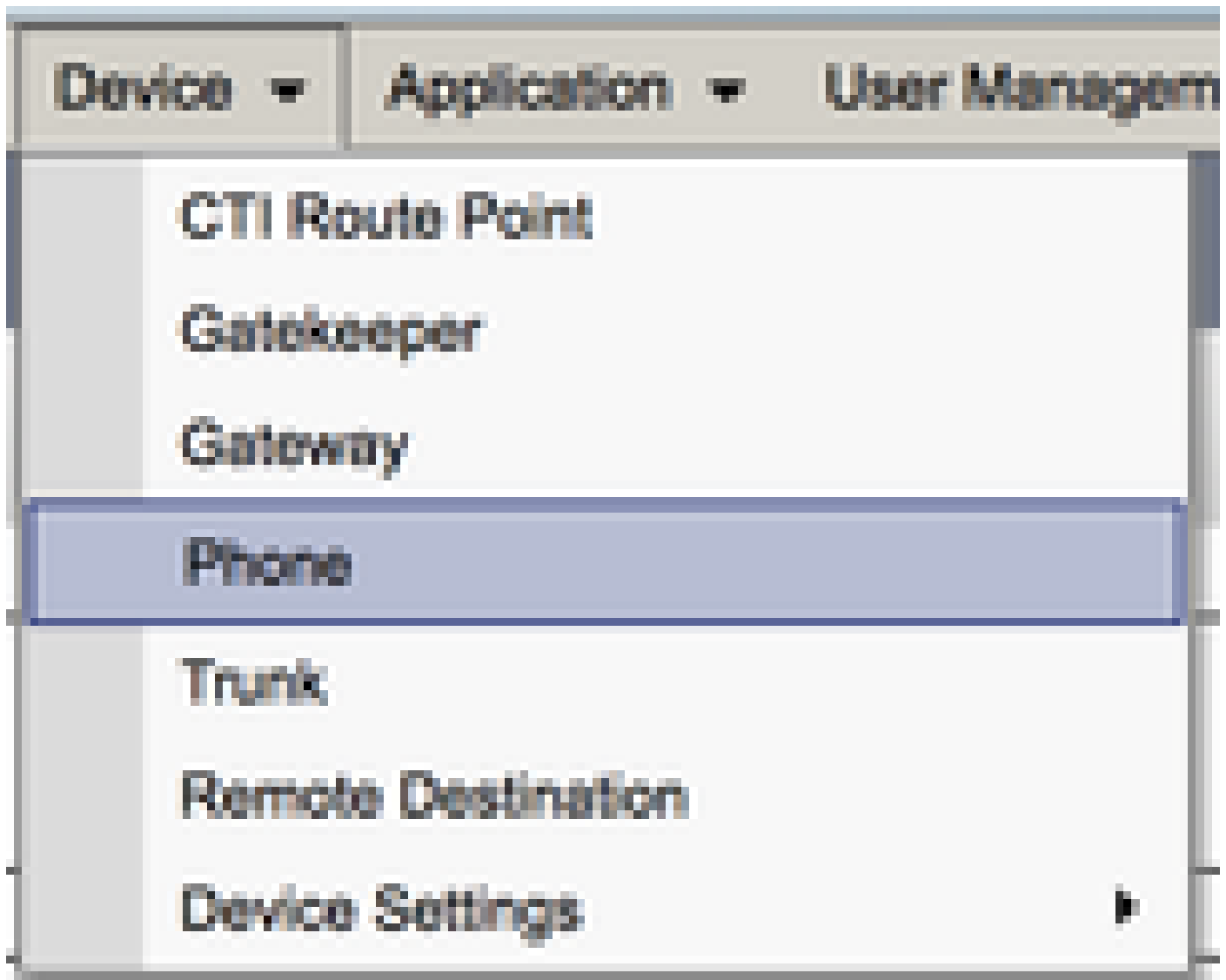
Jabberデスクフォン

Jabber for Windowsには、シスコのデスクフォンでCisco Computer Telephony Integration(CTI)を実行する機能もあります。これにより、Jabber for Windowsユーザは、Jabberユーザインターフェイスからコールアクションを実行するときに、CiscoデスクフォンをJabberテレフォニーデバイスとして使用できます。

デスクフォンの設定

Jabber for Windows CTI統合を設定するには、次の手順を実行します。

CUCM Administration Webページにアクセスし、Device > Phoneに移動します。



Find and List Phonesメニューから、Jabberユーザのデスクフォンを検索して選択します。

Phone (1 - 1 of 1)			
Find Phone where Description begins with Test Find Clear Filter + -			
Select item or enter search text ↓			
<input type="checkbox"/>	Device Name(Line) ^	Description	Device Pool
<input type="checkbox"/>	SEP 9971	Test Deskphone	Default
Add New Select All Clear All Delete Selected Reset Selected Apply Config to Selected			

Phone Configurationメニューが表示されたら、次の2つを確認します。

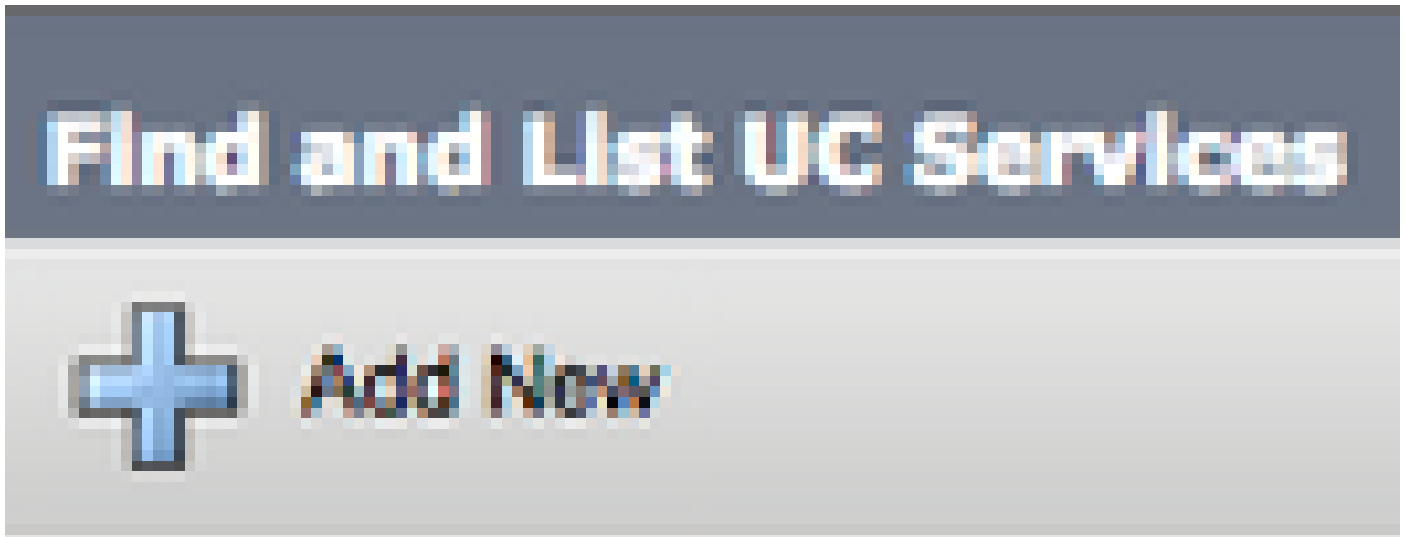
1. Allow Control of Device from CTIチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認します。
2. デバイスの所有者ユーザIDがJabber for WindowsユーザのCUCMユーザIDに設定されていることを確認します。

CTI UCサービスセットアップ

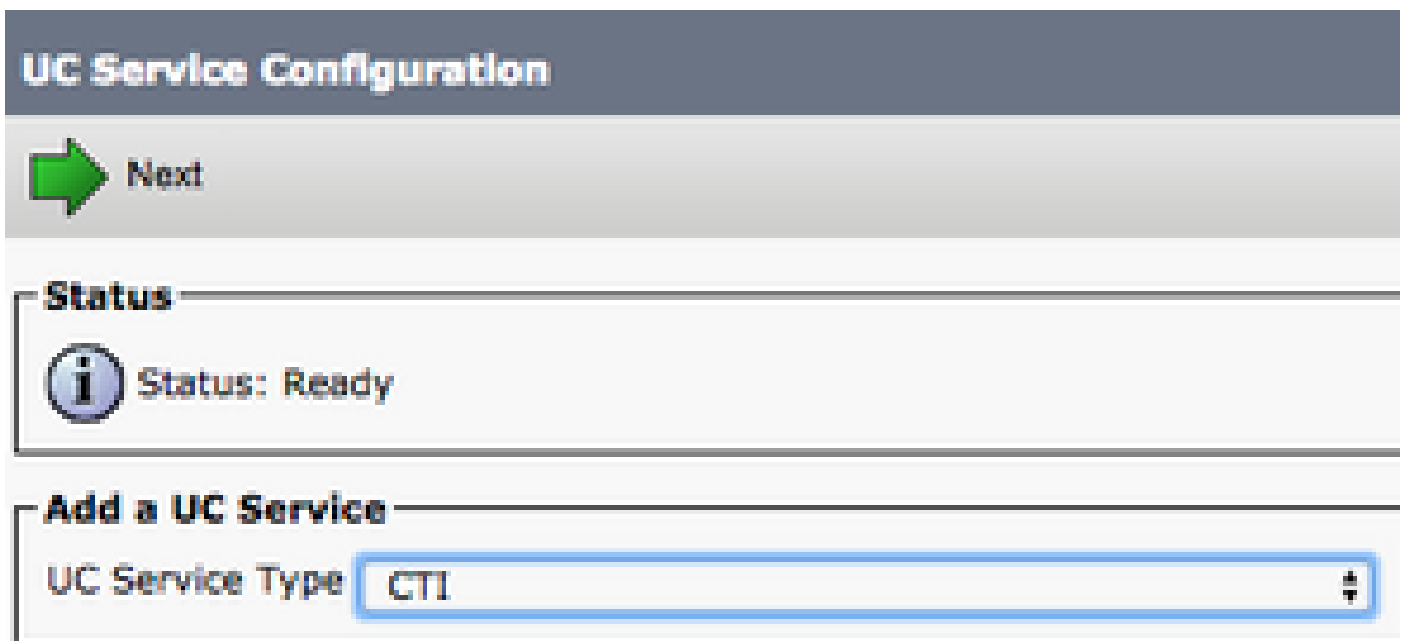
次に、JabberクライアントがCUCM CTIManagerサービスに接続するために使用するCTI UCサービスを設定します。User Management > User Settings > UC Serviceの順に移動します。

The screenshot shows the Cisco Unified Administration interface. The top navigation bar includes 'User Management', 'Bulk Administration', and 'Help'. The 'User Management' menu is expanded, showing options like 'Application User', 'End User', 'User/Phone Add', 'SIP Realm', 'User Settings', 'Self-Provisioning', and 'Assign Presence Users'. The 'User Settings' option is selected, and its sub-menu is displayed, containing 'Credential Policy Default', 'Credential Policy', 'Role', 'Access Control Group', 'Application User CAPF Profile', 'End User CAPF Profile', 'UC Service', 'Service Profile', 'User Profile', 'User Group', and 'User Rank'. The 'UC Service' option is highlighted in blue.

Find and List UC Servicesページが表示されたら、Add Newを選択します。



UC Service Configurationページが表示されたら、UC Service TypeドロップダウンからCTIを選択し、Nextを選択します。



次に、UCサービスの設定ページが表示されます。ここでは、CTI UCサービスの名前を設定し、CTIサービスがアクティブになっているCUCMサーバのIP、ホスト名、または完全修飾ドメイン名(FQDN)を指定します。

UC Service Configuration



Save

Status



Status: Ready

UC Service Information

UC Service Type: CTI

Product Type: CTI

Name* CUCM-Sub-01

Description SUB-01 CTI Services

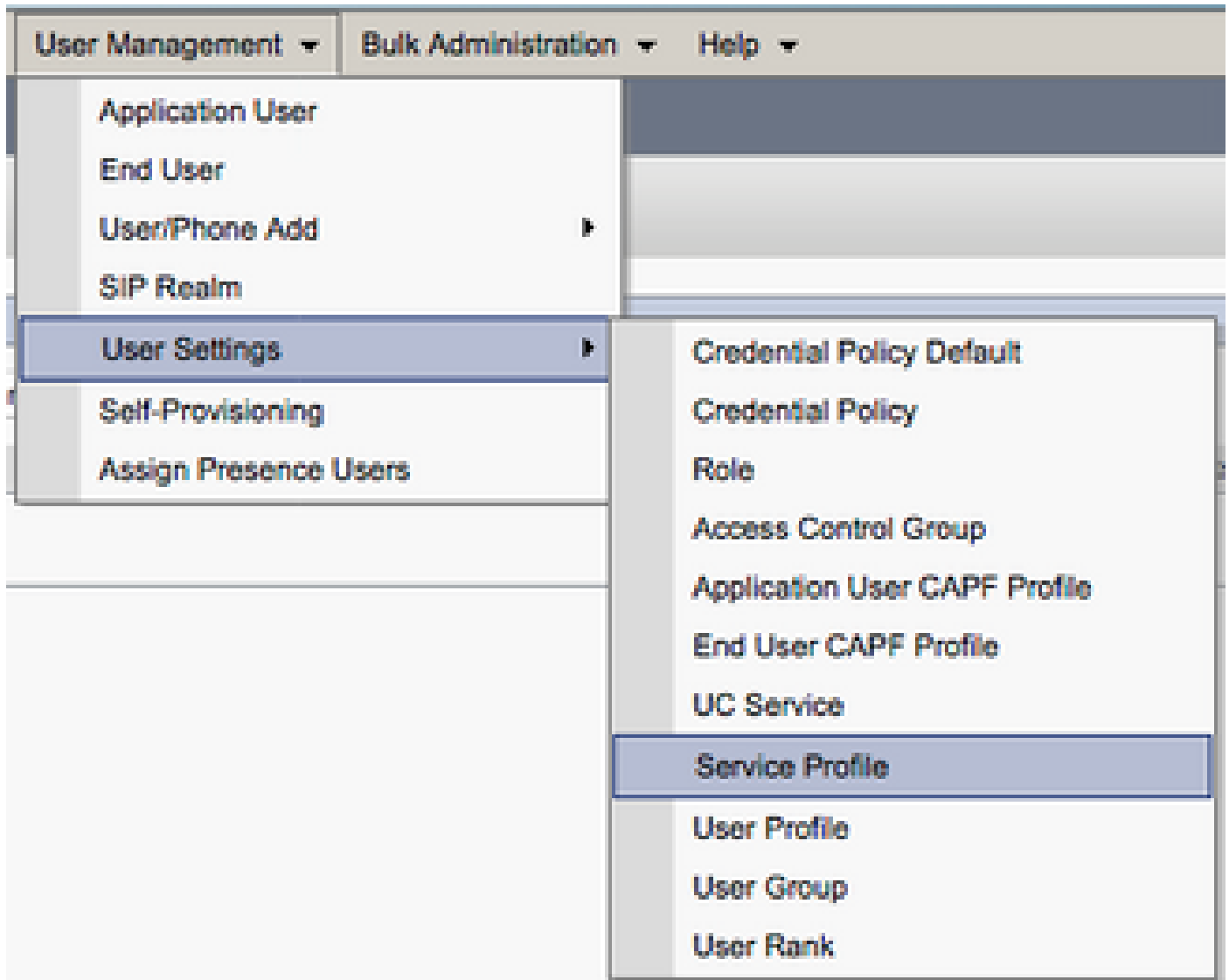
Host Name/IP Address* CUCM-SUB-01.testlab.com

Port 2748

Protocol: TCP

注:1つのUCサービスプロファイルには、最大3つのCTI UCサービスを割り当てることができます。

CTI UCサービスを定義したので、それらをサービスプロファイルに割り当てます。User Management > User Settings > Service Profileの順に移動します。



サービスプロファイルの検索と一覧表示メニューから、Jabber for Windowsユーザが使用するサービスプロファイルを検索して選択するか、新規追加で新しいサービスプロファイルを作成します。

標準CCMエンドユーザ	Cisco Unified CMのユーザオプションへのログイン権限をエンドユーザに付与します。	Jabber SOAP認証
標準CCMUSER管理	Cisco Unified CMのユーザオプションにアクセスできます。	Jabber SOAP [Authentication]
Standard CTI Allow Control of Phones Supporting Rollover Mode	ロールオーバーモードをサポートするすべてのCTIデバイスを制御できます。	Cisco Unified IP Phone 6900シリーズのCTI制御に使用
Standard CTI Allow Control of Phones Supporting Connected Xfer and Conf	接続された転送と会議をサポートするすべてのCTIデバイスを制御できる	Cisco Unified IP Phone 9900、8900、8800シリーズまたはDXシリーズのCTI制御に使用
Standard CTI Enabled	CTIアプリケーション制御を有効にします。	他のすべてのJabber互換CTIデバイスのCTI制御に使用されます。

CUCMエンドユーザに権限グループを割り当てるには、Add to Access Control Groupボタンを選択します。

Permissions Information

Groups

- Standard CCM End Users
- Standard CTI Allow Control of Phones supporting Connected Xfer and Conference
- Standard CTI Allow Control of Phones supporting Rollover Mode
- Standard CTI Enabled

Roles

- Standard CCM End Users
- Standard CCMUSER Administration
- Standard CTI Allow Control of Phones supporting Connected Xfer and Conference
- Standard CTI Allow Control of Phones supporting Rollover Mode
- Standard CTI Enabled

Add to Access Control Group

Remove from Access Control Group

[View Details](#)

[View Details](#)

次に、追加するアクセスコントロールグループを検索し、アクセスコントロールグループ名の近くにあるチェックボックスを選択します。完了したら、「選択を追加」ボタンを選択します。

Find and List Access Control Groups



Select All



Clear All



Add Selected



Close

Status



10 records found

Access Control Group (1 - 10 of 10)

Re

Find Access Control Group where

Name

contains

standard cti

Name

begins with

Find



Name



Standard CTI Allow Call Monitoring



Standard CTI Allow Call Park Monitoring



Standard CTI Allow Call Recording



Standard CTI Allow Calling Number Modification



Standard CTI Allow Control of All Devices



Standard CTI Allow Control of Phones supporting Connected Xfer and conf



Standard CTI Allow Control of Phones supporting Rollover Mode



Standard CTI Allow Reception of SRTP Key Material



Standard CTI Enabled

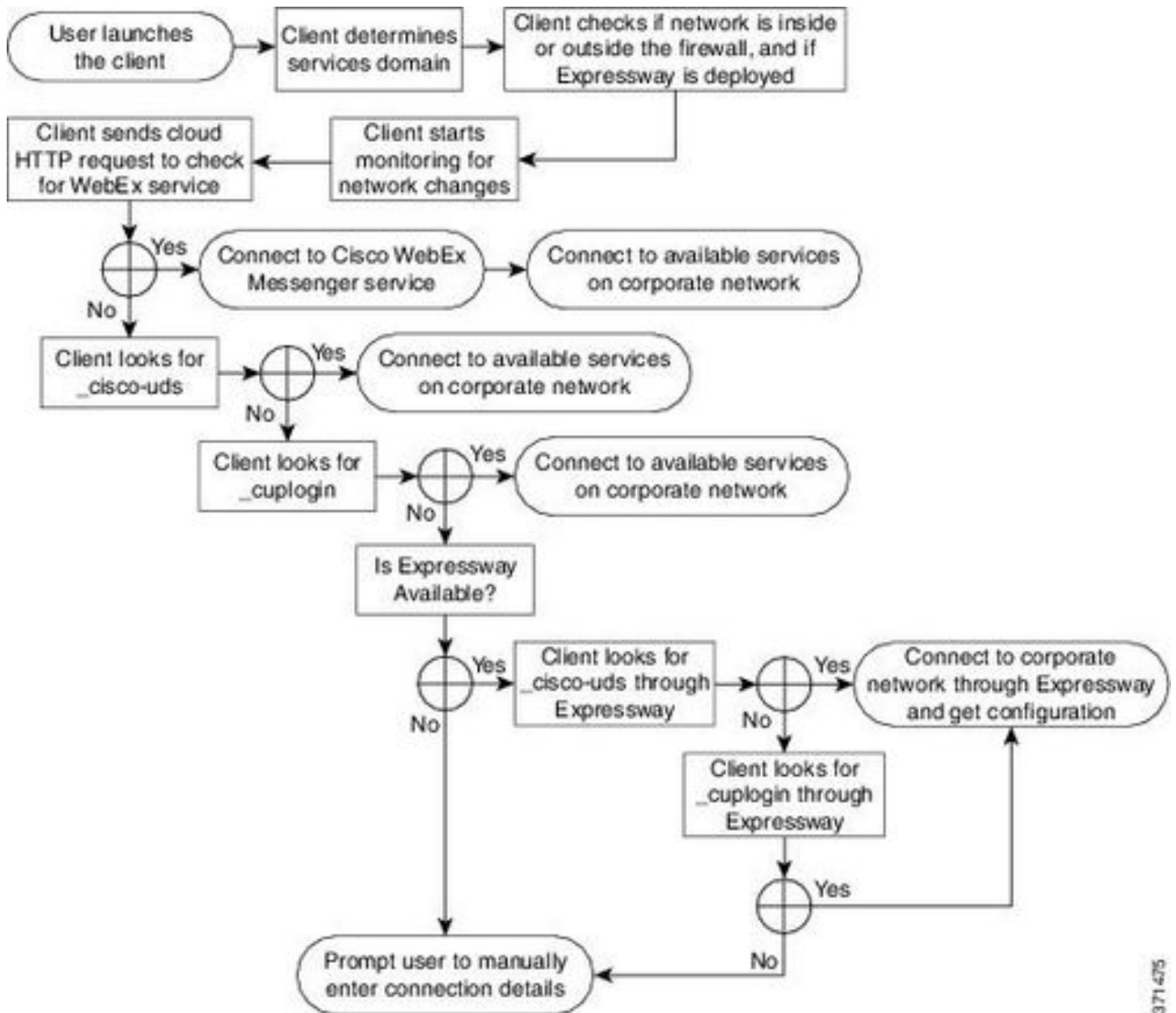


Standard CTI Secure Connection

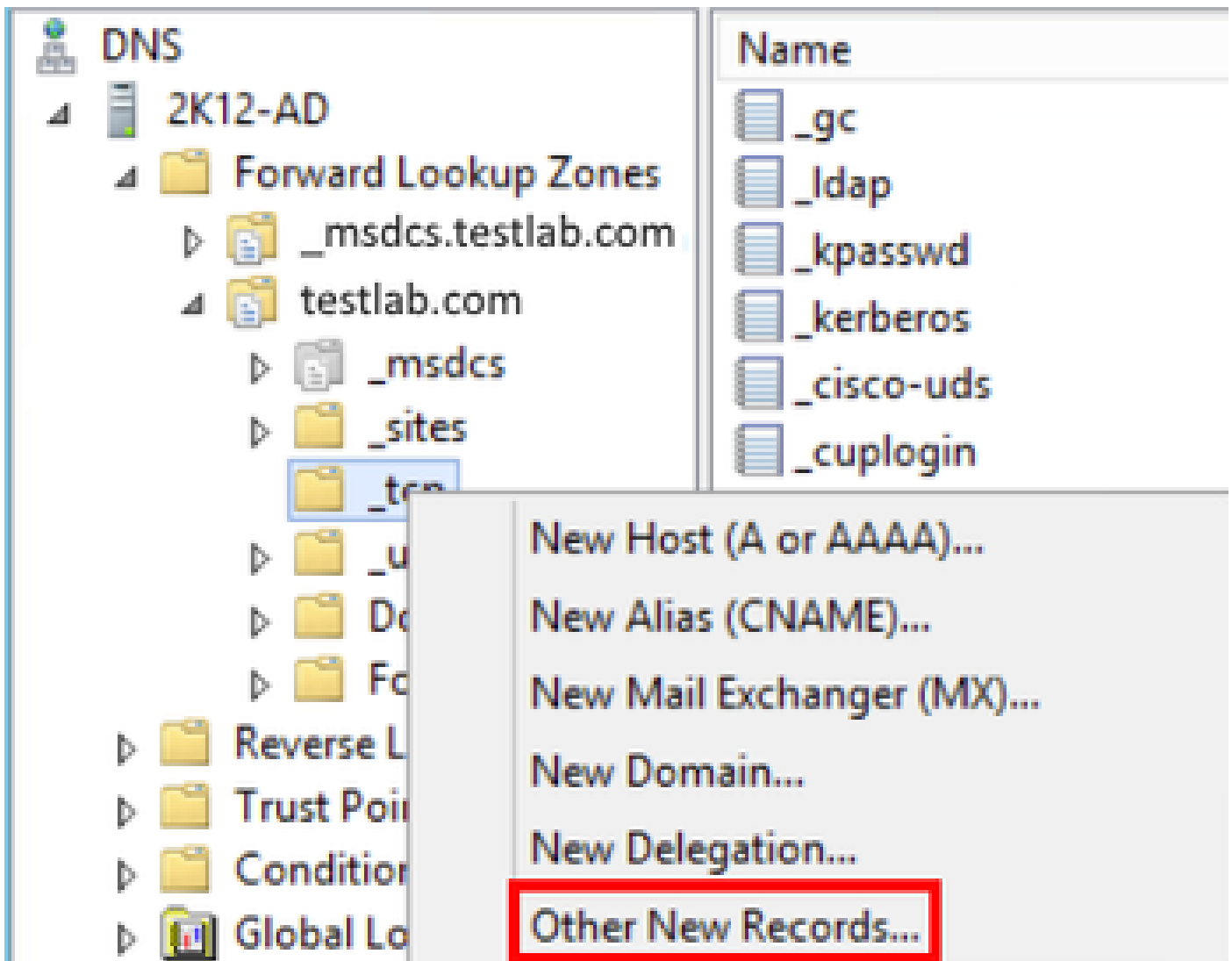
サービスの検出

Cisco Jabberクライアントがログインできるようにするには、認証と設定の取得に使用するサービス (CUCM、IM&P、またはExpressway) をまず認識する必要があります。シスコでは、Domain Name System (DNS ; ドメインネームシステム) Service Location (SRV ; サービスロケーション) レコードを使用して自動サービスディスカバリを設定することを推奨しています。これにより、シームレスなユーザエクスペリエンスと容易な管理が実現されるためです。

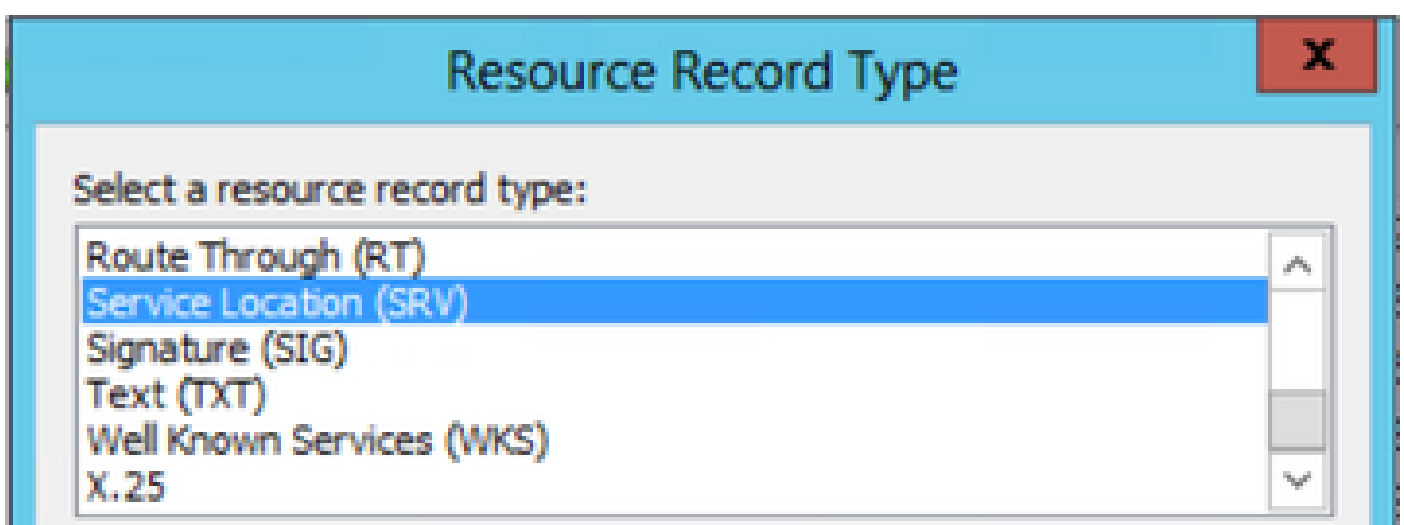
この図は、Jabberの自動サービス検出プロセスを図示したものです。



DNS SRVレコードをMicrosoft DNS Managerに追加するには、ドメインに移動してツリーを展開します。_tcpフォルダを右クリックし、Other New Records...を選択します。



Resource Record Typeウィンドウが表示されたら、Service Location (SRV)を強調表示してから Create Record...を選択します。



次に、[新しいリソースレコード]ウィンドウが表示されます。ここでは、Jabberの初期UDSホームクラスタルックアップに使用される各CUCMサーバのSRVレコードを設定できます。

次に、_cisco-udsSRVレコードの設定例を示します。この例では、_cisco-udsレコードがCUCMク

ラスタ内の3つのCUCMノードに解決されます。

```
_cisco-uds._tcp.<domain_name>.com      SRV service location:
  priority      = 6
  weight        = 30
  port          = 8443
  svr hostname  = cucm3.<domain_name>.com
_cisco-uds._tcp.<domain_name>.com      SRV service location:
  priority      = 2
  weight        = 20
  port          = 8443
  svr hostname  = cucm2.<domain_name>.com
_cisco-uds._tcp.<domain_name>.com      SRV service location:
  priority      = 1
  weight        = 5
  port          = 8443
  svr hostname  = cucm1.<domain_name>.com
```

Jabberのダウンロード

任意のWebブラウザを開き、<https://software.cisco.com/download/home>に移動します。ダウンロードホームページが表示されたら、Jabber for Windowsを検索します。ダウンロードオプションが表示されたら、スクリーンショットに示すように、Cisco Jabber for Windowsのインストールダウンロードを選択します。

Software Download

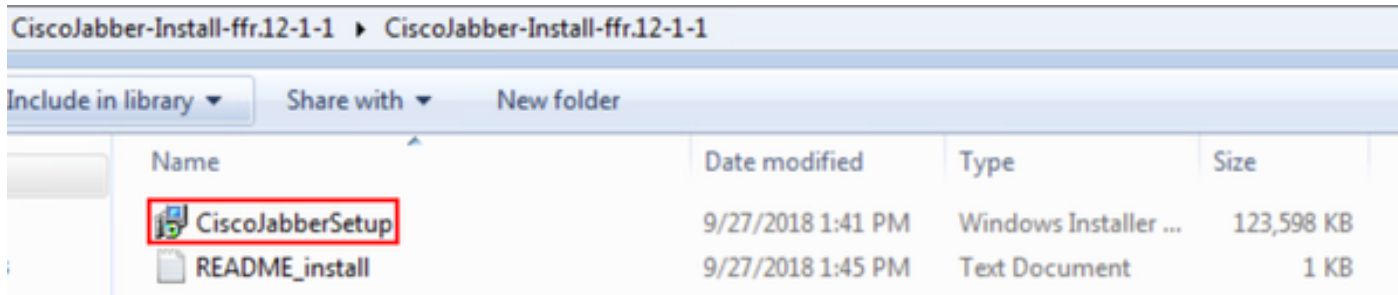
Downloads Home / Unified Communications / Unified Communications Applications / Messaging / Jabber for Windows / Jabber Software- 12.1(1)

The screenshot shows the Cisco Software Download page for Jabber for Windows. On the left, there is a search bar and a list of releases. The '12.1(1)' release is selected. On the right, there is a section for 'Jabber for Windows' with 'Release 12.1(1)' and 'Related Links and Documentation'. Below this is a table of file information.

File Information	Release Date	Size	
Cisco Jabber for Windows Admin	27-SEP-2018	0.15 MB	Download
CiscoJabber-Admin-ffr.12-1-1.zip			
Cisco Jabber for Windows Install	27-SEP-2018	114.13 MB	Download
CiscoJabber-Install-ffr.12-1-1.zip			

Jabberのインストール

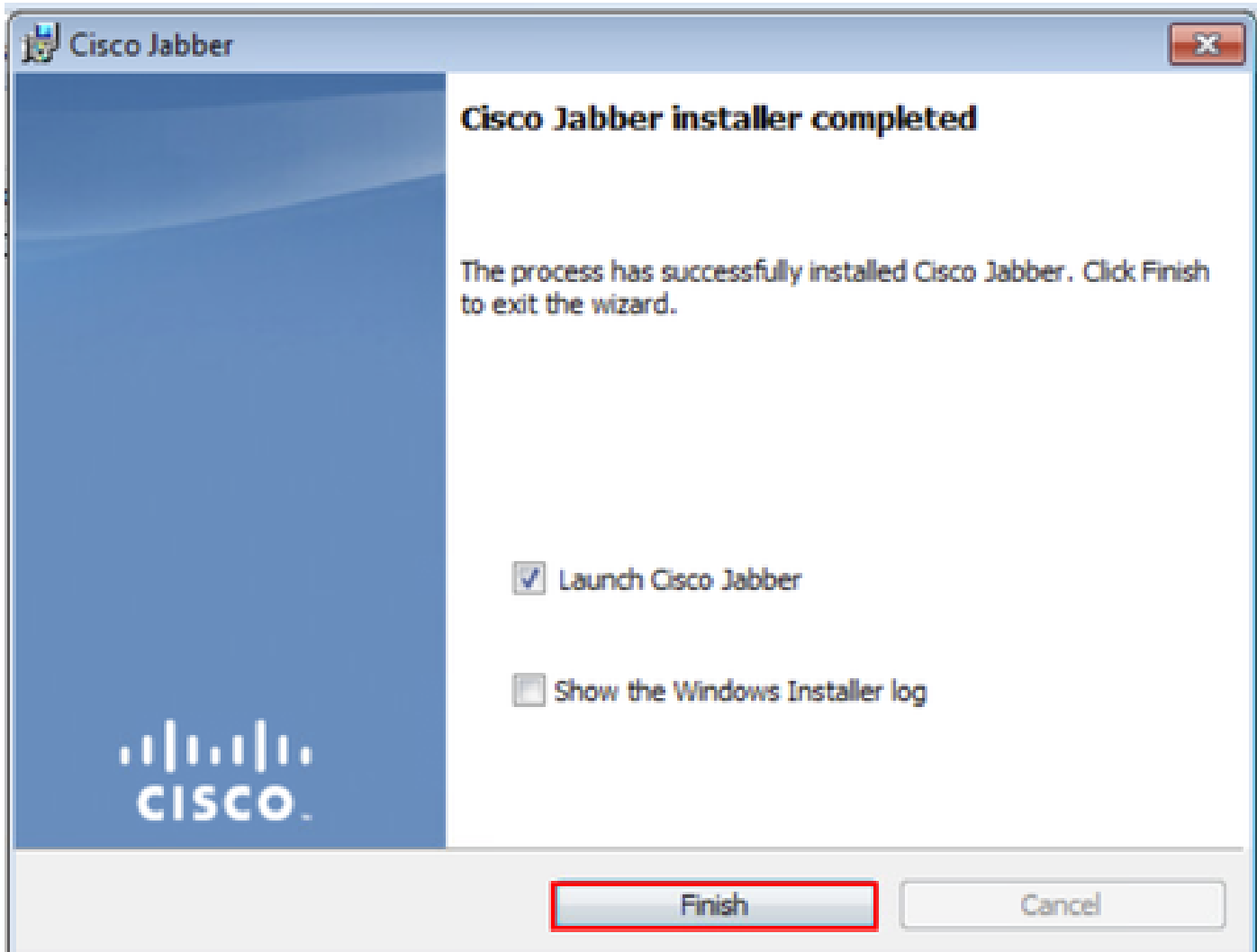
以前ダウンロードしたCisco Jabber for Windowsインストーラを選択します。Jabberインストーラフォルダを解凍し、CiscoJabberSetup.msiを選択します。



Jabber for Windowsのインストールが開始されたら、通知と免責事項をお読みください。インストールを続行する場合は、Accept and Installを選択します。



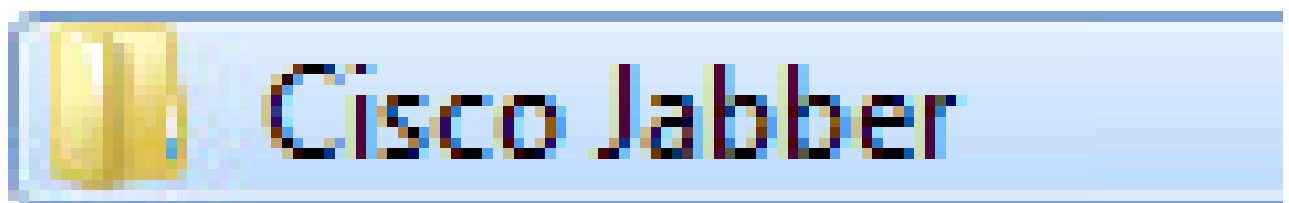
Jabberのインストールが完了すると、「Cisco Jabber installer completed」ウィンドウが表示されます。インストールを完了するには、Finishを選択します。



Jabber へのログイン

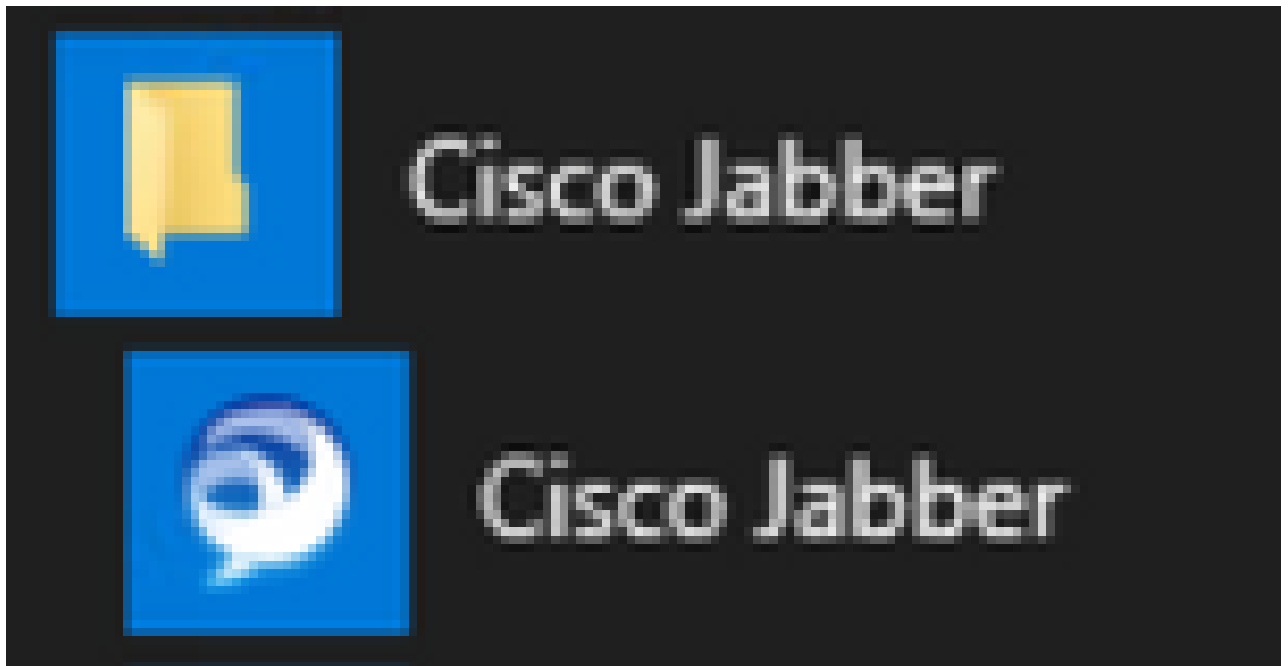
Jabber for Windowsにログインするには、Microsoft WindowsマシンでJabberアプリケーションを選択して起動します（図1を参照）。

- Windows 7
 - Windowsのスタートメニュー>すべてのプログラム> Cisco Jabber > Cisco Jabberに移動するか、Jabberデスクトップアイコンを選択します（該当する場合）。



- Windows 10

- Windowsのスタートメニュー> Cisco Jabber > Cisco Jabberに移動するか、Jabberデスクトップアイコンを選択します（該当する場合）。

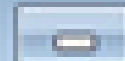


Jabberアプリケーションが起動したら、サービス検出に使用するJabberユーザ名とドメイン (tuser@testlab.comなど)を入力します。

注：デフォルトでは、JabberはログインしたWindowsセッションのユーザプリンシパル名 (UPN)を使用して、サービス検出に使用されるドメインを取得します。このスクリーンショットでは、UPNディスカバリが使用されていないことを前提としています。



Cisco Jabber



Cisco Jabber

tuser@testlab.com

Continue

[Advanced settings](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。